

高槻 まちかど遺産 H25-14



旧富田小学校の門柱

ここに立つ2本の石柱は、旧富田小学校の門柱です。同小学校は、明治6年(1873)本照寺境内に開校。筒井池北東の新家町への移転を経て、明治37年(1904)、普門寺旧境内の当地に木造校舎を構えました。

全国的に知られるジャーナリスト・評論家の故大宅壯一おおくさ ちゆういちをはじめ、多くの人材がこの門から巣立っていきました。

昭和43年(1968)、児童の増加に伴い昭和台町へ再移転しましたが、この地に残された門柱には校札を掛けた金具も残り、往時の面影がしのべられます。

平成 26 年 3 月 高槻市教育委員会



旧富田小学校の校舎と校門

旧富田小学校の門柱

ここに立つ2本の石柱は、旧富田小学校の門柱です。同小学校は、明治6年(1873)本照寺境内に開校。筒井池の北東の新家町への移転を経て、明治37年(1904)、普門寺旧境内の当地に木造校舎を構えました。

全国的に知られるジャーナリスト・評論家の故大宅壯一をはじめ、多くの人材がこの門から巣立って行きました。

昭和43年(1968)、児童の増加に伴い昭和台町へ移転しましたがこの地に残された門柱には校札を掛けた金具も残り、往時の面影がしのべられます。

平成 26 年 3 月 高槻市教育委員会

※01 竹村健一さんは、疎開に来られ、富田小学校を卒業されている。

※02 明治37年普門寺の本堂跡に本確的な木造校舎を建築され、多くの人材を世に送りました。昭和43年新池(上の池)下の池跡に現在の小学校ができ移転しました。

令和5年(2023年)7月1日には、富田小学校創設150年になります。今後、小中一貫校となると再構築が必要になってくるでしょう。